

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表結果

あゆみの園

実施期間：令和 4 年 12 月 1 日～12 月 29 日

配布者：児童発達支援事業所あゆみの園職員 5 名

回答：5 名（回収率 100%）

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5				
	②	職員の配置数は適切であるか。	4	1			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか。	5				
	④	生活空間は、清潔で、環境になって心地よく過ごせることになっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			書面などを用いて目標設定や振り返りを行っている。	職員会議で次月の活動内容の説明などを行っている。振り返りも各職員記入し、書面で情報は共有している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5			アンケート結果を参考に保護者からの疑問には個別に、又はお便りなどで答えている。	
	⑦	事業所向け自己評価表および保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5			集計結果ホームページで公開している。 また公開している事を月一回のお便りにてお知らせしている。	

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			第三者からの外部評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5			部署内では月一回勉強会を行っている。 センター全体での研修会も参加している。	施設外研修などは ZOOM などを活用して 園内で行える事もあった。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			普段の会話の中からも家族の困りごとや、 要望など伝えやすいよう、信頼関係構築に 努めている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4	1			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援お寄り移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			目標設定の際に確認を行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	5			職員全員が目標を把握できるよう設定している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			使用する道具や動きなど職員間で意見交換を行っている。	リハ職員とも会議を行い、専門的な視点からのアドバイスをもらう事ができている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			内容の見直しや、マンネリ化しないよう新しい情報を取り入れている。 季節の行事や遊びも積極的に取り入れている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	5			集団活動の中で発達に応じた道具や援助方法などを細かく設定している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5			活動内容は月単位で職員に提示して伝達している。	実施の前の週にデモンストレーションなどを行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			その週の活動が終わったら、各自振り返り入力している。書面での振り返りの機会を設けている。	その日に行うのは難しい為、書面で確認できるようにしている。

	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			支援計画書の内容に沿った項目で毎日の記録を残している。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	5			本人の状況の変化があった時には保護者と情報共有しながら見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5			担当職員、児童発達支援管理責任者、普段関わる職員が主に参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	5			保健センターなどから情報を貰っている。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関を連携した支援を行っているか。	5			同施設内の相談支援員などと情報を共有している。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療関係と連絡体制を整えているか。	5			主治医より看護指示書の提出をお願いしている。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			依頼があれば行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			小学部入学時に行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達疎遠事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5			保護者から依頼があれば行えるが、依頼経験は特にない。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	3		地域の保育園や幼稚園との交流はないが、行事等で利用児のきょうだいと接する機会はある。今年度は感染対策の観点から行事は実施していない。	
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5			今年度協議会の実施はないため参加はしていないが、アンケートなどには答えている。	

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			連絡ノートなどに細かく内容を書いて伝えている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	4	1		困りごとがある保護者などには相談支援での相談を勧めている。	相談支援や機関相談に相談・紹介し、計画相談や、他のサービス利用につながる時もあった。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				契約時に行っている。 負担金の変動があった場合その都度お知らせしている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			説明を行った後でも質問などないか尋ねている。	
	③⑭	定期的に、保護からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			困りごとなど話しやすい雰囲気づくりと、信頼関係の構築に努めている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	3	2		保護者会は開催していないが、行事を交流の場としている。 今年度は行事は小規模で実施している。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			関係機関と連携し行っている。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			事業所内では月に一回お便りを配布している。 センター全体では年3回広報誌を発行している。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	5			ファイルの棚等は施錠している。	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか。	3	2		センター全体の行事には地域住民も参加している。今年度は感染対策の観点から実施していない。	

非常時等の対応	④①	緊急時対マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			訓練予定をお便りで配布し、行った内容もお便りで伝えている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			実施・図上訓練どちらかを月に一回行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			利用前の聞き取り調査で行っている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	5			除去食については医師からの指示書を元に対応している。	
	④⑤	ヒヤリハット事集を作成して、事業所内で想定しているか。	5			センター全体のヒヤリハット・インシデント集を回覧している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			勉強会を行っている。	
	④⑦	どのような場合にやむ得ず身体拘束行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			別紙にて身体拘束同意書を作成し、3か月ごとに見直しを行い保護者に承諾を得ている。	